



種名：ギンブナ *Carassius* sp.

分類：在来種 純淡水魚 千葉県：一般保護生物

### ○大きさ

- ・成魚：15～40cm

### ○生息箇所（すみか）

- ・利根川下流部や霞ヶ浦や関東平野に広く生息しています。
- ・溪流を除くほとんどの淡水環境(たんすいかんきょう)に生息しています。

### ○生態（どんな生活をしているか）

- ・雑食性(ざっしょくせい)で小型の底生動物(アカムシやケンミジンコ等)をなんでも食べる。
- ・春から初夏(3～6月)に水辺のヨシなどの植物に卵を産み付けます。
- ・オスがいなくてもメスだけで繁殖(はんしょく)することもできます。

### ○釣りや漁業

- ・ヘラブナ(ゲンゴロウブナ)釣りと同じでウキ釣りポピュラーです。
- ・餌はねり餌が一般的ですが、ミミズでも釣れます。あたりが小さいので集中力が必要ですね。
- ・利根川や霞ヶ浦では、定置網(ていちあみ)や投網(とあみ)、四手網(よつであみ)を使う伝統漁法(でんとうぎょほう)があります。

### ○地域利用

- ・利根川流域では古くからギンブナを含むフナ類は手軽がたんぱく源として利用されており、地域文化と密接なかかわりがります。
- ・全国にフナを使った郷土料理が点在しています。例えば、琵琶湖のふなのなれずし(鮒寿司)、愛知県や群馬県のふな味噌、島根のふなの松笠煮(まつかさ)、茨城県のふななます(酢の物)、味わい深いですね。